

平成29年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(数学)科目：(数学 I) 対象：(第1学年A組～E組)

科目担当者：(A組：(印)) (B組：(印)) (C組：(印)) (D組：(印)) (E組：(印))

教科・科目の 指導目標	数学の基礎的知識の習得を図り、数学的な考え方を身につけさせる。また、大学受験に適応できる学力を養う。
----------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>○大問1 正答率90%程度 基礎的・基本的な事項の知識・理解、数学的な技能に関する基礎能力は身につけている。確率については基本的な事項からの確認が必要。</p> <p>○大問3 正答率50%程度 関数における基本的な知識や処理能力はある。既知の知識から推察したり、立式したりする能力がやや低い。</p> <p>○大問4 正答率70%程度 平面図形の基本的性質は理解しているが、線の比と面積の関係では正答率が低かった。</p> <p>○大問5 正答率40%程度 空間的な図形の考察や処理が苦手である。難易度が高い問題では、論理的に考察し処理する</p>	<p>○基礎的・基本的事項の理解度や処理能力の確認。</p> <p>○応用力の養成。</p> <p>○論理的考察力の育成。</p>	<p>○教科書および問題集のA問題(基礎)を2回以上解き、基礎的・基本的事項を完全に理解させる。</p> <p>○教科書の発展問題および問題集のB問題・応用問題・総合演習を各定期考査ごとに課題提出させ、入試問題や応用例題を通して問題の難度に慣れさせ、挑戦していく力を養成する。</p> <p>○大学生スタッフによる考査前の学習支援、自習室での取り組み、放課後の指導を通して、基礎力や応用力の不足を補う。</p> <p>○勉強合宿等で、日頃取り組めない入試問題や、論理的思考を要する問題に取り組ませる。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			